

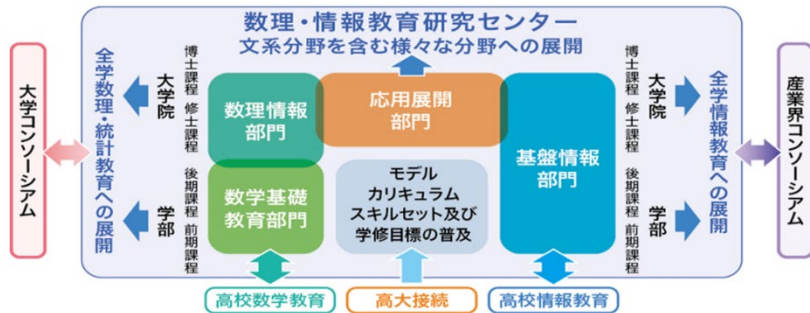
大学名 東京大学

表題 文理を超えた数理・データサイエンス・AI教育による人材育成

特色ある取組

東京大学では、情報理工学系研究科を責任部局とする連携研究機構「数理・情報教育研究センター」(略称MIセンター)を設置している。MIセンターでは、数理と情報を横系に、応用展開を縦系にして、数理的手法、統計的手法、データサイエンス及び情報技術の総合的な教育基盤を整備し、社会における課題抽出、問題解決、価値創造ができる人材を育成を行っている。

MIセンターの概要



取組の様子

■数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム

全国の300以上の大学・高専からなる数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアムを立ち上げ、その幹事校として、教育の普及に努めている。コンソーシアムでは、数理・データサイエンス・AI教育のモデルカリキュラムを策定しており、文部科学省による大学・高専の数理・データサイエンス・AI教育プログラム認定制度もこのモデルカリキュラムに基づいている。



【関東ブロックワークショップでのポスターセッション】

また、コンソーシアム全体の幹事校であることに加えて、全国の9つのブロックのうち、関東ブロックの幹事校も務め、ワークショップ等を開催している。

■数理・データサイエンス教育の推進

▼学部横断型教育プログラム「数理・データサイエンス教育プログラム」の設置

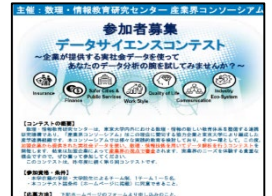
数理・データサイエンスの10以上の科目を新規開設等し、これらの新規開講科目をコア科目とする学部横断型プログラムとして「数理・データサイエンス教育プログラム」を設置した。「Pythonプログラミング入門」には600名超の受講者がいる。また、「データサイエンス履修の手引き」を作成し、文・理問わず様々な専門の学生がデータサイエンスのスキルを身につけるための道筋を示している。



▼産業界コンソーシアム(UTokyo MDSコンソーシアム)

産業界と東京大学数理・データサイエンスコンソーシアム(UTokyo MDSコンソーシアム)を設置し、MIセンターの教育基盤整備への協力と、産学連携を推進し成果を産業界の発展に活用することを目的に、産業界の要望の取りまとめと実践的な教育への支援、データサイエンスに関する成果の共創と活用を推進する活動を行っている。

具体的には、コンソーシアム加盟企業提供の実社会データを使用してデータ解析を行うデータサイエンスコンテストや加盟企業の協力により、Project Based Learning (PBL)を開催している。



【データサイエンスコンテスト当日の様子】

▼データサイエンスコモンズの設置

MIセンターでは、文系・理系を問わず、あらゆる学問でデータサイエンス・AIが重要な役割を果たすようになってきているため、MIセンターに「データサイエンス・コモンズ」を設置し、学内の誰でも気軽にデータ分析の相談や議論ができる場所を提供している。また、学生を対象としたデータサイエンスの勉強会を開始し、毎回活発に議論が交わされている。

【関連WEB】

- ・数理・情報教育研究センター
<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/index.html>
- ・数理・データサイエンス・AI教育強化拠点コンソーシアム
<http://www.mi.u-tokyo.ac.jp/consortium/index.html>